助動詞の意味

文字どおり動詞を意味的に助ける。
話し手の主観を表すもの。

助動詞の3つのルール

1　動詞の直前に置かれ、**助動詞＋動詞の原形**　で1つのセット。〇 You **may stay** at home.
2　動詞に3単元のSはつかない。　　✖ He **must eats** pancake.
3　助動詞は2つ以上連続して置かない。 ✖ I **will can** speak English.

助動詞	事柄の可能性や行為の必要性について話し手はどうとらえているか		程度
	可能性・確率	必要性・意志	
must	「…にちがいない」	「…しなければならない」	高 ↑
will	「…だろう」	「…するつもりである」 「…するだろう」	
can	「…でありうる」	「…することができる」	
may	「…かもしれない」	「…してよい」	↓ 低

話し手の主観の程度を表せるのが助動詞

主語が～である（可能性・確率）がどの程度か。
主語が～する（必要性・意思）がどの程度か。

程度 ※ 数値はあくまで目安		事柄の可能性や行為の必要性について話し手はどうとらえているか	
		可能性・確率	必要性・意志
100%	—	He is a painter.（彼は画家です。）	I buy a bottle of water.（私は水を1本買います。）
80～90%	非常に高い	He **must** be a painter. （彼は画家にちがいありません。）	I **must** buy a bottle of water. （私は水を1本買わなければなりません。）
70～80%	そこそこ高い	He **will** be a painter. （彼は画家になるでしょう。）	I **will** buy a bottle of water. （私は水を1本買うつもりです［買うでしょう］。）
60～70%	6割程度か	He **can** be a painter. （彼は画家でありえます［かもしれません］。）	I **can** buy a bottle of water. （私は水を1本買えます。）
50～60%	半分程度か	He **may** be a painter. （彼は画家かもしれません。）	I **may** buy a bottle of water. （私は水を1本買ってもよいです［買うかもしれません］。）